



「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

平成30年6月13日

災害多発時代の地域防災を考える ～雪害・風水害・津波・火山～ ～渡島管内防災シンポジウムを開催します～

函館開発建設部管内では、平成30年の暴風雪による通行止めや、平成29年台風第18号による土砂流出など、災害対応上重要な役割を果たす道路が寸断される被害が発生しました。また、東日本大震災時に函館市内でも浸水被害を受けた津波や、駒ヶ岳のような活火山の活動についても注視し、激甚災害の発生前に対応を検討しておく必要があります。

本シンポジウムでは、各行政機関における防災・減災の取組を紹介するとともに、多発する災害に備えた関係機関連携や危機感の共有について包括的な議論を行います。

記

○ 渡島管内防災シンポジウム

災害多発時代の地域防災を考える～雪害・風水害・津波・火山～

【開催日時】平成30年6月28日(木) 14:00～17:00

【会場】北斗市農業振興センター（北斗市東前74番地の2）

【プログラム】別紙参照



※シンポジウム会場では、パネル及び災害対策車両の展示を行います。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

防災対策官 千葉 誠（電話番号 0138-42-8170 ダイヤルイン）

工務課長 甲斐 明（電話番号 0138-42-7603 ダイヤルイン）

函館開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



渡島管内防災シンポジウム

災害多発時代の地域防災を考える
～雪害・風水害・津波・火山～



雪害



風水害



津波



火山

6/28 木
14:00 ▶ 17:00

会場：北斗市農業振興
センター 地図→



入場無料（定員200名）

プログラム

◆ 基調講演 松尾一郎 氏 東京大学大学院情報学環 客員教授
「災害多発時代における備えと新たな取組み」

◆ パネルディスカッション

「激甚化する災害への対応を考える～連携・危機感共有～」

災害対策車両やパネルの展示もあります

主催



国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

後援

北斗市、北海道渡島総合振興局

渡島管内防災シンポジウム

災害多発時代の地域防災を考える～雪害・風水害・津波・火山～

函館開発建設部管内では、平成30年1月、2月の暴風雪による通行止めや、平成29年18号台風による土砂流出など、災害対応上重要な役割を果たす道路が寸断される被害が発生しました。また、東日本大震災時に函館市内でも浸水被害を受けた津波や、駒ヶ岳のような活火山の活動についても注視し、激甚災害の発生前に対応を検討しておく必要があります。

本シンポジウムでは、各行政機関における防災・減災の取組みを紹介するとともに、多発する災害に備えた関係機関連携や危機感の共有について、包括的な議論を行います。

地球温暖化も影響し、災害が以前よりも発生しやすくなってきたから、備えが大事だ、ホキホキ。



北斗市公式
キャラクター
“ズーラーほっキー”
©2013 北海道北斗市
design: 公道はだくネギ太郎

プログラム

14:00～14:10	開会	
14:10～15:00	基調講演	松尾一郎 氏 東京大学大学院情報学環 客員教授 「災害多発時代における備えと新たな取組み」
15:10～17:00	パネルディスカッション	「激甚化する災害への対応を考える～連携・危機感共有～」 ●パネリスト： 北斗市長 池田達雄 氏 函館市女性会議 会長 佐々木香 氏 北海道渡島総合振興局長 小田原輝和 氏 函館地方気象台長 宮尾孝 氏 北海道開発局函館開発建設部長 菊池一雄 氏 ●コーディネータ：松尾一郎 氏

松尾一郎 氏



これまで、東日本大震災をはじめとする数多くの災害調査に携わるとともに、国内各地で防災・減災に係る検討会の座長等を歴任。

東京大学大学院情報学環 客員教授
環境防災総合政策研究機構 専務理事
東京大学生産技術研究所 研究員
日本災害情報学会 理事
東京都板橋区 総合防災アドバイザー
三重県紀宝町 防災行政総合アドバイザー
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 アドバイザー
後志利別川流域タイムライン検討会アドバイザー

災害対策車両（屋外展示）

ロータリ除雪車



照明車



お申し込み方法

お名前、年齢、性別、ご職業を明記の上、FAXでお申し込みください。
FAX : 0138-42-7114 (国土交通省北海道開発局函館開発建設部工務課)

- 本シンポジウムは、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会(建設系CPD協議会)の認定プログラムです。



国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部